

## 大学放浪記 (57)

伊藤信孝

マエジヨ大学・客員教授 国際学部

過日、学部長がオフィスにきて今日はナイジェリアとの研修プログラムの閉会式があるので出てくれということで参加した。筆者がこれまでの再生可能エネルギー学部を離れて国際学部 (International College) に移籍してから2ヶ月しか経っていない。だからこの研修プログラムも熟知していない。例によって急なことではあるが、躊躇している暇はない。時間的余裕もないので手っ取り早くタイの伝統的服を着て出かけることにした。閉会式ということであるから当然公式服装で臨むのが礼儀であり、常識である。常に着替えることができるようにオフィスにはスーツも用意してあるが、時間的に余裕がないときは、手っ取り早くタイの伝統式服装で対応している。素早く着こなして学部長室に出向くと先客があった。名刺を交換してわかったがナイジェリア大使官と大臣であった。公式服装の対応でよかった。しばし話に花を咲かせて、閉会式場に出向く。ほぼ、20名ほどの研修員らしき人々がいて、初対面の筆者にはどうしてよいかためらいもあったが、これまでの JICA 研修プログラムで経験を積んでいる筆者には、その場の雰囲気にも馴染むのにそれほど時間はかからなかった。世話役の MC (Master of Ceremony) が開会を宣言し、関係者に謝意を表し、公式のプレゼントを手渡し、学長がスピーチをした後大臣がスピーチを行い、最後に学長が来られて、さらにスピーチが続いた。研修員一人ひとりに修了証書を手渡し、最後にグループ写真を撮り、そのあとは簡単なディナーで終わった。大臣と大使館関係者を見送り、閉会式は終わった。国際学部への移籍後2ヶ月では勝手もわからず、今回はいささか手持ち無沙汰であったが次回からは、なんとかしたいと思っているが要はもっと自分が働く場所を知る必要がある。その日に得たわずかな情報では、研修期間は15日程度で、稲作や果樹、土質(土壌)、など多岐にわたるが、期間が短いためどのようなカリキュラムになっているのかも知る必要がある。しかし、見る限りにおいてはこれまで筆者が経験してきたものと類似しており、特に日本での研修を終えた後のタイのカセサート大学での補完研修に極めて類似している。と言っても次回の研修で講義の一つも担当できるかどうかはわからない。常に相手があることであるから。しかしその機会が与えられるならありがたいと思っている。考えてみればマエジヨ大学の事情とはいえ、再生可能エネルギー学部でのプロジェクト予算を用いての雇用など、その対応には感謝している。そして何とか自分が望むところにたどり着けたかに考えている。しかしだからと言って思うように仕事ができるという保証はない。あくまでも相手機関の状況と理解がなければことは動かない。加齢とともに健康状況や働く上でのいくつかの支障やハードルを乗り越えなければならない。幸いにして今は健康でもいつどうなるかは予断を許さない。働けることに感謝しているし、継続して働けることを願っている。

最近ではアフリカ圏を対象とした PAMA (Promtion of Agricultural Mechanization in Africa) が最近の研修プログラムとの関わりである。ナイジェリアに足を踏み入れたことはないが、モロッコからの帰国の途中でラゴスに給油のために着陸した記憶がある。長年携わってきたこともあり研修プロジェクトと聞くと懐かしい。JICA の支援を受けた研修事業が終わってから数年が経つし、コロナ禍が

さらに事業や活動の妨げとなった。多くが Zoon による遠隔授業でカバーされたが、これも仕方のないこととはいえ残念である。筆者なりに Asia Techno Farm Initiative project を提案し、タイ政府も一時は積極的に推進するかに見えたが、コロナ禍もあったとは言うものの、やはり本腰を入れてやる気がなかったか、意図的に筆者を外すという裏相談でもあったのではないかと、そこまでは考えたくないがそのように考えたくもなるほど後味の悪い結末のまま今日に至っている。あるいは、その後の展開をどうすればよいかかわからぬ企画担当者であったのではとも思っている。しかし世界人口が80億(2022年11月)を超えた今、のんびりと指をくわえているわけにはいかない。なぜなら人口はさらにいまでも急激に増え続けており、それなりの準備と対応をしておかねばならないことは周知であり、いたずらに時間の経過を見守っているだけでは時間の無駄となるだけで問題の「先送り」に等しい。対応の早さが人口、食糧、エネルギー、環境問題の4課題の解決を早める。



#### 最近の参考文献



ART+032\_BJAER ART+008\_BJAER Proposal ASIA  
\_JAN\_2023 (3).pd\_ABR\_2023 (4).pcTECHNO FARM IN